

2010 年度決算及び 2011 年度事業計画の概要

説明会 質疑応答

Q

2011 年度事業計画の正味加入件数が、昨年発表された中期経営計画(※)に対し7万件の減となる根拠を教えてください。

A

3月11日に発生した東日本大震災により被災されたお客様による解約を、以下の通り見込んでいます。災害救助法が適用された地域の中で、特に沿岸地域にお住まいのお客様の解約が約5万件になると想定しています。また、その他の地域にお住まいのお客様で震災に起因する正味加入減が最大2万件、あわせて7万件をリスクの最大値として想定しています。

現時点で、上記以外に正味加入件数が中期経営計画と乖離する要因はありません。

※『2014 年度までの中期経営計画の概要』 2010 年 5 月 14 日公表

Q

2011 年度事業計画を受け、2014 年度末の累計正味加入件数の修正は行うのでしょうか？

A

現時点では修正は考えておりません。2011 年度計画では、中期経営計画に対し7万件の正味加入減を見込んでいますが、東日本大震災による直接的影響のみを反映させており、今後、調査等によって状況が明らかになった時点で、その影響をお知らせします。

Q

番組の強化によって加入件数を増やすということですが、番組費は今後どのように増えていくのでしょうか？

A

既にお伝えしている通り、ハイビジョン・3チャンネル化となる今期以降、番組費は増えていきます。

2010 年度は 214 億円で単体売上高の 34.4%でしたが、今期は 10 月以降のハイビジョン・3チャンネル化により 40%を超える想定をしています。

加入増によって売上高を増やしていく中で、番組費は売上高の一定割合を目安にし、利益を確保していきたいと考えています。

Q

番組費の中で、有料放送番組費の比率が増えていますが、今後も増えていくのでしょうか？また数値目標はありますか？

A

オリジナルコンテンツを中心とした有料放送番組費の比率は増えていくと見込んでいますが、その比率についての数値目標は持っていません。

2010 年度決算及び 2011 年度事業計画の概要

説明会 質疑応答

Q 東北3県で地上アナログ放送の終了延期が発表されましたが、BSでのアナログ放送終了の対応に影響がありますか？

A BS放送は、予定通り7月24日にアナログ放送終了を予定しています。

Q 東北3県で地上アナログ放送が終了を延期するが、BSは予定通り終了する、ということについて、加入者へのアナウンスがこれまで以上に必要と思われますが、2011年度、特に第1四半期での顧客対策費に影響がありますか？

A 東北3県におけるアナログ加入のお客様は個別に把握できており、今まで通りデジタル移行促進を行っていますので、地上アナログ放送終了延期の影響はないと考えています。また、東北3県におけるWOWOWのデジタル比率は概ね高く、アプローチが必要なアナログ加入のお客様は少なくなっているため、費用への影響は大きくないと考えています。

Q 地上アナログ放送の終了も迫る中、BSまで対応できないお客様も出てくるのではと思いますが、デジタル移行はアナログ終了直前に集中するのでしょうか？

A デジタル移行は、6月に集中すると考えています。また、7月以降もアナログ放送が終了するまで、丁寧に推進を行っていきます。

以上

※決算説明会と同日に開催しましたマスコミ向け決算発表会見における質疑応答内容も含まれます。